

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～芦北町立佐敷中学校での実践～



【芦北教育事務所】

次世代編「いろいろな仕事に関心をもとう！」の活用 ～職場体験学習の事前学習として～



【本講座について説明している様子】



【アイスブレイクの様子】



【班で仕事を産業種ごとに分類している様子】



【班活動の結果を発表している様子】

【講座の日程等】

日にち：令和4年8月31日（水）

場 所：芦北町立佐敷中学校

日 程：2校時（9：45～10：35）

4校時（11：45～12：35）

対 象：佐敷中学校 第2学年1・2組（2学級）62名

進行役：芦北教育事務所 社会教育主事 坂口 祥一郎

【講座の説明】

これから職場体験学習を行う2年生を対象に本講座を実施した。本講座を通して、生徒が職場体験学習に向けて、いろいろな仕事があることや自分の住む町の仕事について関心を持ち、これからの学習へ興味や関心をもって取り組むことができるようなプログラム構成にした。

【プログラムの実際】

- ① くまもと「親の学び」プログラム（次世代編）の説明
・画像（見え方の違い）を使って参加者へのお願い
- ② アイスブレイク・かさなったらパン
・古今東西ゲーム（仕事編アレンジ）
- ③ 知っている仕事、地元にある店、会社等を書き出す
- ④ 第一次産業、第二次産業、第三次産業、その他にグループ分けする
- ⑤ 書き出された仕事について、「知っている」「知らない」で分けながら意見交換を行う
- ⑥ 「ビジネスの相手が誰であるか」で仕事を考える視点を知る
- ⑦ トレーナーのまとめ
- ⑧ 感想の記入と発表

【生徒の感想】

- 町内の職業や店をグループ内で出し合ってみると、知らないものがあり、新しい発見になった。また、自分が行く店や職場体験先は第何次産業なのかを考えることで仕事への興味をもつことができた。職場体験では、自分のやりたことや新たな可能性が見つけられたらよいと思う。この学習を職場体験で活かしたい。
- 今回の学習を通して、町内には意外と多くの仕事があることが分かった。また、職場体験があることの大切さを知れた。将来、どのような職業につくか、改めて、しっかりと考えていきたいと思った。自分のやりたいことが見つけられるように、もっと深く考えていきたい。
- 自分の知る仕事はごくわずかで、他にもたくさんの仕事があることを実感した。これからは、視野を広くもち、色々なことを調べ知っていくことが、とても大切なことだと思った。